

と課題について説明を行った。他に、医療安全に関する政策上の流れ（医療安全対策加算、医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針、および良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律の一部の施行）に関する説明を行った。

2) 地域における医療安全ネットワーク構築に関しては、医療安全推進における3つの課題、①医療安全におけるリーダーシップの発揮、②医療安全推進に必要な医療安全管理者、および医療安全推進者等の人材育成、③無床診療所等における医療安全管理体制の整備を含めた地域単位での医療安全の推進、地域における医療安全ネットワークの構築、に関して述べた。さらに、組織における“医療安全力”を高める取り組みとして、トップマネジメントをはじめとして職員個々におけるリーダーシップが必要なことを強調した。

3) 実践的医療安全トレーニングの実施では、医療安全トレーニング・分析システムについて、医療安全教育の成果、職種間コミュニケーションの可能性についてなど、具体的な医療安全トレーニングの実施に関する提案を行った。（詳細は資料8参照）

【研修会参加者の反応】

（研修会参加者のアンケートから）

研修終了後に実施したアンケートから、以下の意見・感想が聞かれた。

◇診療形態が自院とはやや異なるが、具体的な取り組み内容は大変参考になった（医師）

◇他科における医療安全の取り組み状況がよく理解でき、自院の問題点の改善につなげることができると思う（歯科医師）

◇他の分野の話がとても新鮮で勉強になった（開業助産師）

◇様々な立場の方の話を聞いて非常に参考になった（開業助産師）

◇病院に所属しているのとは違って情報が入りにくいので、今回はよい機会だった（出張助産師）

【団体・施設訪問によるヒヤリング調査】

1. 日本医師会

木下勝之常任理事から、日本医師会の医療安全の取り組みと今後の展望に関して、お聞きした。医療安全対策マニュアルの策定、産科医療保障制度に関するこれまでの経過を紹介していただいた。事故が発生する前に防ぐシステムを、特に診療所、有床、中小規模の病院を対象としたシステム作りの重要性を指摘された。また、法制化された診療所における医療安全管理体制の周知はもとより、実際面でのサポート（研修・教育）の必要性、地域連携における医療安全体制構築の重要性に関しても、今後の展望を述べられた。

2. 明生会網走脳神経外科リハビリテーション病院

橋本政明理事長から、医療安全を含めた地域連携に関して、お聞きした。脳神経外科病院からスタートし、特にチーム医療が重要とのことで、職員教育や人材育成に力をいれていることを

強調された。リスク管理として ISO を取得し、これに基づいて、医療安全と質向上の取り組みを実施しているとのことであった。リスクをひとつひとつ潰していくことが重要で、インシデント報告も当事者個人を責めるのではなく、再発防止のためであることを繰り返し伝えるとのことであった。リスクをつぶすことで、退職者が増えることを防止するなど、リスクに早めに対処することが重要であると話された。

これらのことを含めて、地域連携の一環として関連施設全体で情報共有を行い、適時カンファレンスを実施して、医療の安全と質向上に努めておられるとのことであった。

D. 考察

【平成 18 年度の研究成果より】

医療安全におけるコンピテンシーに関しては、卒後臨床研修に関する取り組みにも利用可能と考えて、国立保健医療科学院のホームページ (http://www.niph.go.jp/soshiki/jinzai/kenshu-gl/pdf/5/shiryo_9.pdf) に公開している。その他、日本産婦人科医会、日本医師会、大阪府医師会医療安全推進委員会の報告、中医協による調査、神奈川県歯科医師会、日本歯科医療管理学会での検討、日本歯科医師会の取り組みから、無床診療所等の医療安全に関する示唆が得られた。あわせて、国立保健医療科学院における医療安全研修にも言及し、今後、さらに検討が必要であることが確認された。

【平成 19 年度の研究成果より】

班会議を開催して昨年度の研究成果報告・確認を行い、分担研究者と今年度実施予定のアンケート調査票やコンピテンシー等に関する意見交換を行った。この検討内容を参考に、一般診療所・歯科診療所・助産所の医療安全管理体制の整備状況の現状を把握するためのアンケート調査票を作成して調査した。

アンケート集計結果から、それぞれの項目で「すでに実施」、「現在準備中」、「今後実施予定」の合計を「実施」として割合を合算し、これを基に一般診療所・歯科診療所・助産所における医療安全管理体制の整備状況の傾向について、考察を行ったので、以下に記載する。

1) 無床診療所等における安全管理体制の整備

一般診療所・歯科診療所・助産所どちらの施設でも、準備中と実施予定も含めて、80%以上実施されていた安全管理体制の内容は、「安全管理指針の策定」と「医療安全管理者の配置」であった。これは、昨年度の報告書にも記載したが、日本医師会や歯科医師会、日本助産師会などの関連団体における積極的な取り組みの影響も大きいと考えられる。

特に、一般診療所では、上記 2 項目の他に「院内報告制度の整備と実施」、「緊急情報収集の手段の整備」に関しても 80%以上の実施となり、安全管理体制の整備の充実がうかがえた。歯科診療所でも「院内報告制度の整備と実

施」が 80%以上の実施となっており、インシデント・アクシデント報告の整備の充実による医療安全管理体制の推進が期待される。

2) 職員への医療安全研修の実施

「医療安全に関する職員研修の実施」、ならびに「院外の医療安全研修への職員の参加」に関しては、いづれも一般診療所が80%以上の実施であった。医療安全に関する研修は、臨床の医師・看護師を対象としたものが比較的多いが、歯科関連あるいは、助産師会の開催による研修会も実施されており、今後も、多くの機会を通じてレベルアップが図られると考えられる。

3) 医療事故予防対策の実施と事故発生時の対応

「インシデント・アクシデント報告事例を全職員に周知」することに関しては、一般診療所・歯科診療所・助産所、いづれの施設においても 80%以上実施されていた。自施設で発生したインシデント・アクシデント報告事例の内容を職員に公開することにより、リスクセンスの向上を図る機会とすることができ、ひいては院内の安全文化醸成にも結びつけることが期待できる重要な取り組みと考える。また、「インシデント・アクシデント報告事例の分析」、「医療安全トレーニングの実施」、「院内対策改善方策の実施」に関しては、一般診療所で 80%以上の実施という結果があり、分析から対策の実施にまでの取り組みを積極的に実施する施設が増えているのは、事故予防対策に少な

からず影響を与えることと考える。「事故発生とその対策に関する情報公開」については、それぞれの施設における今後の課題と考える。

4) 医療安全推進のための地域連携

「地域の医療機関との連携」、「地域の関連団体との協力体制の整備」に関しては助産所における実施が 80%以上であり、「医療安全研修における地域の医療機関との連携」や「地域の保健所との協力体制の整備」についても、一般診療所や歯科診療所に比較して特徴的であった。

この理由としては、昨年度の報告書でも記載しているように、医療連携は助産所における重要な課題と認識されており、日本助産師会が率先して連携のシステムを整備していることによる影響なども考えられる。

5) その他

職員への ACLS (ICLS) 受講実施、AED の設置に関しては、一般診療所において実施への取り組みが見られたが、昨今、歯科診療所で治療を受ける患者の健康状態も様々で治療中に緊急事態が発生する可能性も考慮され、歯科診療所への導入も図られつつあり、今後の課題として挙げられる。

6) 医療安全管理体制整備に関する課題

歯科診療所では約 80%の施設が課題を抱えているとのことであった。一般診療所および助産所では、過去に有床の医療機関などで勤務した経験のある

職員が在職している可能性もあり、参考になる医療安全管理体制の取り組みもある。歯科診療所においては、医科とは異なる、歯科に特有なインシデント・アクシデント事例を踏まえた医療安全管理体制の構築に向けて、今後の検討が期待される。

【平成 20 年度の研究成果より】

無床診療所等における医療安全構築に関して、関係各団体において、様々な医療安全に関する活動が実施されていた。

日本医師会では、医療安全対策委員会による活動と医療安全対策マニュアルの策定で、冊子でも WEB でも閲覧可能になり、周知が工夫されている。医療安全全国共同行動への参画、医療安全推進者養成講座の開設・継続、ならびに各種講習会の実施や医療安全推進者ネットワークによる情報収集・発信、および産科医療保障制度への取り組み等、今後の活動が注目されると考える。

日本歯科医師会でもヒヤリ・ハット事例調査報告書、歯科医療安全対策ネットワーク事業での活動や、「歯科診療所における医療安全を確保するために」による指針・手順書・計画の編集例等の周知が注目される。歯科医療安全に関するアンケート調査や感染予防講習会、および生涯研修事業の実施等、様々な取り組みが実施され、周知するための広報もホームページ、メールマガジン、広報、雑誌、通知等、媒体も充実していると思われた。

日本助産師会では本部の医療安全対策委員会におけるデータ集計、分析・

対応、電話相談や研修会開催活動、および機能評価への参画が注目される。各支部での安全対策強化の取り組みも、検討会の開催やデータ集計など積極的に実施され、平成 16 年に策定された助産所業務ガイドラインの遵守を基本に各助産所における安全管理指針の作成や分娩数・転院/異常報告の義務化、および助産所機能評価の実施等、今後の活動が注目されると考える。

一般診療所、歯科診療所、助産所において先進的な医療安全活動の紹介では、診療所特有のさまざまな制約のなかで、それぞれの施設で独自の取り組みの実施が注目された。インシデント・アクシデント防止、患者誤認防止、感染防止、急変時の対応、患者搬送、そして、これらの実施のために、職員への教育・研修や日々のトレーニングの重要性、搬送時における対応などを含めた地域における医療安全のネットワーク構築に関わるポイントが指摘された。

今回実施した、一般診療所、歯科診療所、助産所の職員が混合で参加する医療安全に関する研修会を通して、無床診療所等における医療安全を推進するためには、それぞれの取り組みに関する情報の共有と協力が重要であることが確認できた。一般診療所、歯科診療所、助産所が、分野の違いを乗り越えて、他の分野における医療安全の取り組みを参考にして連携・協働することで、今後一層医療安全を推進することが可能になると考える。

また、団体・施設訪問によるヒヤリング調査では、職員教育、人材育成の

重要性、および医療安全における地域連携の実現の可能性に関して、大きな示唆が得られた。

E. 結論

無床診療所等における医療安全管理体制に関しては、一部の医療機関において独自の工夫が既に行われており、また、各関連団体でも迅速な対応がみられていた。アンケートやヒヤリング等の調査より、一般診療所・歯科診療所・助産所それぞれの、そして3者の医療安全管理体制の整備状況の比較に関して、ある程度の傾向がわかった。医療安全研修に関して、地域の中核病院と無床診療所等の連携による研修の実施の可能性、および施設管理者のリーダーシップの重要性が確認できた。

今後の無床診療所等における医療安全管理体制構築に関しては、個々の施設における医療安全の取り組みはもとより、各関係団体における医療安全管理活動への参画、ならびに地域における医療安全ネットワークの構築をどのようにシステム化するかが、課題であることがわかった。また、無床診療所等において医療安全管理を担当する職員として、自施設は元より他の医療機関との連携、地域単位での医療安全推進に取り組むことのできる人材の育成が重要である。

個々の医療機関における取り組みでは、日々の安全管理体制の周知に加えて、患者の状態に応じた病院への搬送、BLS、ICLS などによる救急対応の能力獲得、ならびに他院への搬送時の良好なコミュニケーションが重要と考えら

れる。地域連携を活かした医療安全ネットワークの構築には、常日頃から、研修などを通じた連携・協働により、コミュニケーションを良好に保持しておくことが重要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表 0件
2. 学会発表 9件
 - 1) 石川雅彦、平尾智広. 無床診療所等における医療安全管理体制の検討. 第66回日本公衆衛生学会; 2007. 10. 25 ; 松山
 - 2) Masahiko Ishikawa, Tomohiro Hirao; Patient Safety in Clinic. 19th Annual National Forum on Quality Improvement in Health Care, 2007, Des, Orland
 - 3) 石川雅彦. 一般診療所における医療安全管理体制構築の検討. 第31回日本プライマリ・ケア学会 ; 2008. 6. 13-15 ; 岡山
 - 4) 石川雅彦、種田憲一郎、平尾智広、平田創一郎、谷津裕子. 無床診療所等における医療安全管理体制構築の検討. 第10回日本医療マネジメント学会学術総会 ; 2008. 6. 20 ; 名古屋. 日本医療マネジメント学会雑誌 9 (1), p184
 - 5) 石川雅彦. 無床診療所等における医療安全管理体制構築推進に向けた検討 ; 第47回全国自治体病院学会 ; 2008. 10. 16 ; 福井
 - 6) 石川雅彦. 無床診療所等における医療安全管理体制. 第46回日本医療・病

院管理学会学術総会;2008, 11. 15; 静岡、
日本医療・病院管理学会誌、78

7) 石川雅彦, 平尾智広, 平田創一郎,
無床診療所等における医療安全管理
体制の構築. 第67回日本公衆衛生学
会総会; 2008. 11. 5-7; 福岡. 日本公
衆衛生雑誌 2008; 55 (10 特別附録):
376.

8) 石川雅彦、児玉知子、玉置洋. 無
床診療所等における医療安全管理体制
構築のための取り組み; 第3回医療の
質・安全学会学術集会; 2008, 11月;
東京、医療の質・安全学会誌, 220

9) Masahiko Ishikawa; Establishing
Patient Safety in Clinics without
Beds. 20 th Annual National Forum on
Quality Improvement in Health Care,
2008, Des, Nashville

H. 知的所有権の出願・取得状況(予定 を含む)

- ・特許取得 0件
- ・実用新案登録 0件
- ・その他 0件

II. 資 料 編

【共通】

質問項目・内容	チェック	備考
1. 管理体制の整備		
①組織が明確で、組織図がありますか	<input type="checkbox"/>	
②施設内で連絡調整会議を定期的に行っていますか	<input type="checkbox"/>	
③労働状況や労働環境は、職員の意見を聞き、必要に応じて見直されていますか	<input type="checkbox"/>	
2. 安全管理体制の整備		
①医療安全管理対策マニュアルがありますか	<input type="checkbox"/>	
②事故発生時の対応手順が明文化されていますか	<input type="checkbox"/>	
③医療安全管理者を配置していますか	<input type="checkbox"/>	
④インシデント・アクシデントの報告を実施していますか	<input type="checkbox"/>	
⑤賠償責任保険に加入していますか	<input type="checkbox"/>	
⑥セキュリティは整備していますか	<input type="checkbox"/>	
⑦個人情報保護のための対応は実施されていますか	<input type="checkbox"/>	
⑧苦情・クレームへの対応は実施されていますか	<input type="checkbox"/>	
3. 医療安全管理の現状		
①インシデント・アクシデントが発生したことがありますか	<input type="checkbox"/>	
②保健所の立ち入り検査を受けたことがありますか	<input type="checkbox"/>	
③保健所からの指導を受けたことがありますか	<input type="checkbox"/>	
4. 職員教育の充実		
①施設内で医療安全に関する研修を実施していますか	<input type="checkbox"/>	
②職員の安全管理に関する意識を高める働きかけをしていますか	<input type="checkbox"/>	
③職員は救急活動の安全対策について理解していますか	<input type="checkbox"/>	
④職員が施設外で実施される研修会への参加を勧めていますか	<input type="checkbox"/>	
⑤施設外で行われる研修に職員を派遣(勤務時間内)することは可能ですか	<input type="checkbox"/>	
⑥医療安全管理に関する研修を受講した職員はいますか	<input type="checkbox"/>	
⑦院長を始め職員は、医療安全に関する研修を受講していますか	<input type="checkbox"/>	
⑧接遇・マナーに関する研修を実施していますか	<input type="checkbox"/>	
⑨苦情・クレーム対応に関する研修を実施していますか	<input type="checkbox"/>	
5. 地域における連携		
①地域において他施設(同程度の診療所等)との連携はされていますか	<input type="checkbox"/>	
②地域の病院との連携はされていますか	<input type="checkbox"/>	
6. 医療安全管理における課題		
①医療安全管理における自院の課題はありますか	<input type="checkbox"/>	
②医療安全管理における自院の課題克服の取り組みはされていますか	<input type="checkbox"/>	

質問項目・内容	チェック	備考
【無床診療所】		
①緊急時の連携病院はありますか	<input type="checkbox"/>	
②インシデント・アクシデントの報告が義務化されていますか	<input type="checkbox"/>	
③事故当事者は研修を受講されていますか	<input type="checkbox"/>	
④無床診療所における医療安全の課題はありますか	<input type="checkbox"/>	
⑤どのようなインシデント・アクシデントがありますか？	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	
【歯科診療所】		
①緊急時の連携病院はありますか	<input type="checkbox"/>	
②インシデント・アクシデントの報告が義務化されていますか	<input type="checkbox"/>	
③事故当事者は研修を受講されていますか	<input type="checkbox"/>	
④歯科診療所における医療安全の課題はありますか	<input type="checkbox"/>	
⑤どのようなインシデント・アクシデントがありますか？	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	
【助産所】		
①嘱託医はいらっしゃいますか	<input type="checkbox"/>	
②緊急時の連携病院はありますか	<input type="checkbox"/>	
③救急活動システム(緊急時の対応の手順)は整備されていますか	<input type="checkbox"/>	
④年間分娩件数	<input type="checkbox"/>	
⑤年間異常分娩件数(発生率)	<input type="checkbox"/>	
⑥年間の病院への搬送件数(発生率)	<input type="checkbox"/>	
⑦インシデント・アクシデント報告されていますか(H16より日本助産師会員は義務化)	<input type="checkbox"/>	
⑧事故を起こした方は研修を受講されていますか(H16より日本助産師会実施)	<input type="checkbox"/>	
⑨助産所ガイドラインを活用していますか(日本助産師会配布)	<input type="checkbox"/>	
⑩助産所における医療安全の課題はありますか	<input type="checkbox"/>	

無床診療所等における医療安全コンピテンシー

主任研究者 石川 雅彦 国立保健医療科学院 政策科学部長

分担研究者 平尾 智宏 香川大学医学部 医療管理学講座 助教授

研究要旨

無床診療所等（一般診療所・歯科診療所・助産所）における安全管理体制の構築に関して、その現状の把握は重要である。

本研究では、無床診療所等の安全管理の現状の把握方法として、これらの医療施設に必須と思われる課題について、まず一般診療所に対して医療安全のコンピテンシーについてアンケート調査を行った。

その結果、医療安全に関するコンピテンシーについては、現行のほぼすべての課題に対する必要性が示唆された。より詳細な検討をするためには、今後はコンピテンシーのサブカテゴリーに関しての調査も行い、さらに多くの一般診療所や歯科診療所、助産所に対象範囲を広げて、安全管理体制に共通の課題を抽出する必要があると考えられた。

A. 研究目的

無床診療所等における医療安全管理体制の現状調査のため、まず一般診療所（無床）の安全管理体制に関するコンピテンシー（医療安全に直接結びつく個人の行動特性・能力）の調査を行った。

B. 研究方法

一般診療所に対して、コンピテンシーに基づく医療安全管理体制に関するアンケート調査を行うため、4件の診療所（内科3件、産婦人科1件、無床）に調査を依頼し実施した（資料1）。

アンケートの作成には、分担研究者の平尾の研究、平成16年度厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「医療の質の確保のためのコ

アとなる職種横断的資質に関する研究」の報告書内におけるコンピテンシーの概念も参考にした。

医療安全に関するコンピテンシーとしては、オーストラリアでの検討が充実しており、National Patient Safety Education Framework (<http://www.safetyandquality.health.wa.gov.au/publications/docs/framework0705.pdf>)に詳細が記載されている。

この中では医療安全達成に必須の課題として、①円滑なコミュニケーション、②エラー・マネジメント、③EBMとITの適正利用、④安全業務励行、⑤医療倫理遵守、⑥継続学習、および⑦その他（患者・部位誤認、不適切な手技に留意する、薬剤の処方安

全に行う)、などが挙げられている。

このコンピテンシーに対して、その獲得すべきレベルが1～4まで分類され、医療者の職種・職位に応じて、コンピテンシーの達成レベルが示されている。

C. 研究結果

調査対象となった一般診療所においては、このうちのどの項目が既に行われ、あるいは必要なかを確認するためのアンケート調査であった。現在既に実施していることに関しては、4件とも、ほぼ全体に渡って実施されていたが、患者の医療安全に関する主体的参加やIT利用（電子カルテ）、医療倫理等に関する体制の構築や職員の自己管理に関する体制の未整備が判明した（資料2）。また、これらの項目の必要性に関しては、ほぼ全体の項目が必要とされていたが、医療機関の組織としての位置づけなどの理解を十分浸透させる必要があると考えられた。また、回答者の意見では、質問の内容が漠然として答えにくいとの意見もあった。

D. 考察

医療安全におけるコンピテンシーに関しては、卒後臨床研修に関する取り組みにも利用可能と考えて、国立保健医療科学院のホームページ（http://www.niph.go.jp/soshiki/jinzai/kenshu-gl/pdf/5/shiryo_9.pdf）に公開している。今回の調査では、各クリニックの自己評価で実施内容にまで

入り込めず、また、内容が漠然としているとの意見もあったが、原本にはさらに詳細なサブカテゴリー分類があるため、今後は、より詳細な内容に関する調査が必要であると考えられた。

E. 結論

一般診療所における医療安全に関するコンピテンシーの検討では、ほぼ現行の課題すべてに対して、必要性が確認された。今後、コンピテンシーに関する検討を深めるため、さらに多くの一般診療所や歯科診療所、助産所に対象範囲を広げて、安全管理体制に共通の課題を抽出する必要があると考えられた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表 0件
2. 学会発表 0件

H. 知的所有権の出願・取得状況（予定を含む。）

1. 特許取得 0件
2. 実用新案登録 0件
3. その他 0件

「無床診療所等における医療安全管理体制構築に関する研究」アンケート

以下の設問を読み、当てはまるものにチェックをつけてください。

	コア・コンピテンシー	サブカテゴリー	既に実施	未実施	必要	不要	不明
1)	円滑なコミュニケーション	①患者と家族に医療への主体的な参加を促す	<input type="checkbox"/>				
		②患者と家族にリスクを伝える	<input type="checkbox"/>				
		③患者と家族に情報を正確に伝える	<input type="checkbox"/>				
		④患者からインフォームド・コンセントを得る	<input type="checkbox"/>				
		⑤患者の性別・年齢などに配慮する	<input type="checkbox"/>				
2)	エラー・マネジメント	①有害事象を判断・報告・マネジメントする	<input type="checkbox"/>				
		②リスク・マネジメントを行う	<input type="checkbox"/>				
		③医療におけるエラーを知る	<input type="checkbox"/>				
		④苦情へのマネジメントを行う	<input type="checkbox"/>				
3)	エビデンスと情報の活用	①エビデンスを活用した医療を実施する	<input type="checkbox"/>				
		②ITの利用により安全性を高める	<input type="checkbox"/>				
4)	安全な業務	①チームの一員、又はリーダーとしての業務の実施	<input type="checkbox"/>				
		②ヒューマン・ファクターを把握する	<input type="checkbox"/>				
		③医療組織は複雑であることを理解する	<input type="checkbox"/>				
		④継続して医療を実施する	<input type="checkbox"/>				
		⑤自己管理(疲労やストレス)を実施する	<input type="checkbox"/>				
5)	医療倫理に則った業務	①正確な業務を実施する	<input type="checkbox"/>				
		②医療倫理に基づいた業務を実施する	<input type="checkbox"/>				
6)	学習の継続	①業務関連の学習を継続する	<input type="checkbox"/>				
		②業務に関連した教育を実施する	<input type="checkbox"/>				
7)	その他	①患者・部位誤認、不適切な手技に留意する	<input type="checkbox"/>				
		②薬剤の処方を安全に行う	<input type="checkbox"/>				

以上、ご協力ありがとうございました。

歯科診療所における医療安全の取り組み

平田 創一郎

東京歯科大学 社会歯科学研究室 講師

歯科診療所における医療安全に対する取り組みを語る上で、日本歯科医師会の取り組みは非常に重要な位置を占めると考えられる。そこで、日本歯科医師会の医療安全への取り組み状況について概説する。

①小冊子「歯科診療所における医療安全を確保するために」

各診療所における医療安全への取り組みの第一歩として、医療安全指針の策定があげられる。そこで日本歯科医師会では歯科医療安全対策委員会において「歯科診療所における医療の安全を確保するための指針」モデルとして、小冊子「歯科診療所における医療安全を確保するために」を作成し、指針・手順書等のモデルの会員への周知を図った。さらに国民に安全で安心して良質な歯科医療を提供するため、医療安全対策の取り組みに整合させた医療安全管理体制を検討していく予定である。

②歯科医療安全対策ネットワーク事業

歯科診療所における歯科医療安全の推進をはかることを目的として、歯科診療所での医療事故の発生予防、発生時対応、再発防止対策を講じるため、「歯科医療安全対策ネットワーク

事業」を平成18年10月より実施している。同事業では、各歯科診療所における医療事故、医事紛争の事例を都道府県歯科医師会を通じて収集し、日本歯科医師会において分析等を行い、経年的にそれらの事例を蓄積し、さらに都道府県歯科医師会を通じてフィードバックを行っていく物である。

③歯科医療従事者に対する感染症予防講習会の実施

厚生労働省の委託事業である「歯科医療従事者に対する感染症予防講習会」を全国6ヶ所で実施している。なお、その内、歯科衛生士に対する講習会及び歯科技工士に対する講習会は、それぞれ日本歯科衛生士会・日本歯科技工士会に委託し実施している。

④医療安全推進週間（厚生労働省）に関する会員等への周知

医療安全対策に関する歯科医療関係者の意識向上を図ることを目的に、日本歯科医師会 HP 等を通じて、医療

安全推進週間に関する情報の会員等への周知を図っている。

⑤日本医療機能評価機構（評価委員会・医療事故防止センター運営委員会）への参画

（財）日本医療機能評価機構は、国民が適切で質の高い医療を安心して享受でき、国民の医療に対する信頼を揺るぎないものとし、その質の一層の向上を図るために、病院を始めとする医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関として設立されている。

定例の評価委員会を開催し医療事故収集事業として3ヶ月毎に報告書を取りまとめているほか、医療事故防止センター運営委員会を開催している。その評価委員会及び医療事故防止センター運営委員会に、日本歯科医師会からも委員として参画しており、歯科診療所における医療安全対策の推進

に寄与している。

⑥都道府県歯科医師会の取組

このほか、都道府県歯科医師会単位でも、①指針・手順書等のモデルの作成と会員への周知、②政府委託事業以外の感染症予防講習会の実施、③歯科医療安全に関する研修会の実施等が進められている。

⑦その他

また、歯科診療所における医療機器の使用及び保守点検状況等については、大阪府が大阪府歯科用医療機器安全確保対策ワーキンググループを設置し、「歯科診療所における医療機器の使用及び保守点検状況等に関する調査」を実施したところである。この調査を受け、ヒヤリハット等に対する具体的対策等につき、報告書を取りまとめているところである。

無床診療所等における医療安全管理体制の構築に関して調査するアンケートです。

ご協力よろしくお願いします。

*以下の該当する項目の□に、複数回答可以外の問は1つを選択し、チェックをお願いします。

貴施設は以下のどれですか？	
<input type="checkbox"/> 一般診療所	<input type="checkbox"/> 歯科診療所 <input type="checkbox"/> 助産所
【問1】安全管理体制の整備	
1) 安全管理指針の策定	<input type="checkbox"/> 既に整備している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、策定予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に整備していると答えた場合⇒ (複数回答可)	整備しているものはどれですか？ <input type="checkbox"/> 医療安全管理指針 <input type="checkbox"/> 院内感染対策指針 <input type="checkbox"/> 医薬品業務手順書 <input type="checkbox"/> 医療機器保守点検計画
2) 安全管理委員会の設置	<input type="checkbox"/> 既に設置している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、設置予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に設置していると答えた場合⇒ (複数回答可)	設置しているのはどれですか？ <input type="checkbox"/> 安全管理委員会 <input type="checkbox"/> 院内感染対策委員会 委員会開催の頻度は？ <input type="checkbox"/> 定期的に開催している (年or月: 回) <input type="checkbox"/> 不定期で、必要時開催している
3) 院内報告制度の整備と実施	<input type="checkbox"/> 既に整備・実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、整備・実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に整備・実施していると答えた場合⇒ (複数回答可)	実施している報告はどれですか？ <input type="checkbox"/> インシデント・アクシデント発生状況 <input type="checkbox"/> 院内感染症発生状況 <input type="checkbox"/> 院内医薬品安全使用の状況 <input type="checkbox"/> 院内医療機器安全使用の状況
4) 医療安全管理者の配置	<input type="checkbox"/> 既に配置している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、配置予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に配置していると答えた場合⇒ (複数回答可)	どなたが担当していますか？ <input type="checkbox"/> 施設管理者が担当している <input type="checkbox"/> 施設管理者以外の職員が担当している 担当者は「医療安全管理者研修」を受講していますか？ <input type="checkbox"/> 受講している <input type="checkbox"/> 今後、受講予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う <input type="checkbox"/> 今のところ受講予定はない
施設管理者以外の職員が担当している場合⇒	給与への加算はしていますか？ <input type="checkbox"/> 加算している <input type="checkbox"/> 加算していない
その他の体制を整備している場合⇒ (複数回答可)	配置しているのはどれですか？ <input type="checkbox"/> 常勤の医薬品安全管理責任者 <input type="checkbox"/> 常勤の医療機器安全管理責任者

3) 事故予防のための具体的な対策の実施	<input type="checkbox"/> 既の実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に実施していると答えた場合⇒ (複数回答可)	どのような対策を実施していますか？ <input type="checkbox"/> リスクアセスメント <input type="checkbox"/> チェックリスト作成・活用 <input type="checkbox"/> 環境改善（手すり、バリアフリーなど） <input type="checkbox"/> その他：
4) インシデント・アクシデント報告事例を 全職員に周知	<input type="checkbox"/> 既の実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に実施していると答えた場合⇒ (複数回答可)	どのような方法で全職員に周知していますか？ <input type="checkbox"/> ミーティングなどで口頭で周知 <input type="checkbox"/> 院内ニュースなどで周知 <input type="checkbox"/> メールで周知 <input type="checkbox"/> その他：
5) 院内対策改善方策の実施	<input type="checkbox"/> 既の実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に実施していると答えた場合⇒ (複数回答可)	実施しているのはどれですか？ <input type="checkbox"/> 院内インシデント・アクシデント対策 <input type="checkbox"/> 院内感染対策 <input type="checkbox"/> 医薬品安全使用対策 <input type="checkbox"/> 医療機器安全使用対策
7) 事故発生とその対応についての情報公開	<input type="checkbox"/> 既の実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に実施していると答えた場合⇒ (複数回答可)	どのような方法で情報公開をしていますか？ <input type="checkbox"/> 院内掲示（院内ニュースなど） <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他：
【問4】医療安全推進のための地域連携	
1) 自施設の医療安全管理の現状に関する情報公開 (地域住民への情報公開)	<input type="checkbox"/> 既の実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
2) 地域の医療機関との連携 (事故発生時や緊急時の協力体制)	<input type="checkbox"/> 既の実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
3) 医療安全研修における地域の医療機関との連携 (地域の中核病院、他の無床診療所など)	<input type="checkbox"/> 既の実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に実施していると答えた場合⇒ (複数回答可)	どのよう機関と連携していますか？ <input type="checkbox"/> 地域の中核病院における研修に参加 <input type="checkbox"/> 地域の他の無床診療所と協働で研修実施 <input type="checkbox"/> その他：

4) 地域の保健所との協力体制の整備	<input type="checkbox"/> 既に実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
5) 地域の医療安全支援センターとの連携	<input type="checkbox"/> 既に実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に実施していると答えた場合⇒ (複数回答可)	どのような連携をとっていますか？ <input type="checkbox"/> 医療安全に関する研修の受講 <input type="checkbox"/> 医療安全に関する相談 <input type="checkbox"/> その他：
6) 地域の関連団体との協力体制の整備 (日本医師会、日本歯科医師会、日本助産師会など)	<input type="checkbox"/> 既に整備している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、作成予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
7) 地域住民の声を反映するための情報収集	<input type="checkbox"/> 既に実施している <input type="checkbox"/> 現在、準備中 <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
既に実施していると答えた場合⇒ (複数回答可)	どのような方法で情報を収集していますか？ <input type="checkbox"/> 投書箱 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ホームページ（メール） <input type="checkbox"/> 相談窓口 <input type="checkbox"/> アンケート調査
【問5】その他	
1) 職員へのACLS (ICLS) 受講の実施 ACLS (二次救命処置) ICLS (ACLS基礎)	<input type="checkbox"/> 既に実施している <input type="checkbox"/> 今後、実施予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
2) AEDの設置 (自動対外式除細動器)	<input type="checkbox"/> 既に設置している <input type="checkbox"/> 今後、設置予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
3) ICDの取得 (インフェクションコントロールドクター)	<input type="checkbox"/> 既に取得している <input type="checkbox"/> 今後、取得予定 <input type="checkbox"/> これから検討を行う予定である <input type="checkbox"/> 今のところ予定はない
【問6】医療安全管理体制構築に関する課題	
1) 医療安全管理体制整備に関する課題	<input type="checkbox"/> 課題がある <input type="checkbox"/> 課題がない <input type="checkbox"/> わからない
課題があると答えた場合⇒ (複数回答可)	どのような課題がありますか？ <input type="checkbox"/> 医療安全管理の経験者がいない <input type="checkbox"/> 職員数が少ないため外部の研修に参加できない <input type="checkbox"/> 情報が少ない <input type="checkbox"/> どこに相談するかわからない <input type="checkbox"/> その他：
本アンケートに関するご意見・ご感想がありましたら、お知らせください。	

ご協力ありがとうございました。

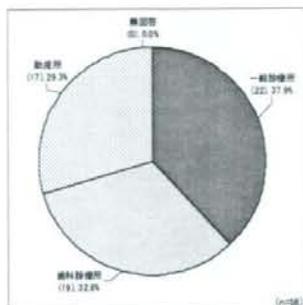
【一般診療所・歯科診療所・助産所における医療安全管理体制の整備状況】一覧

「すでに実施」「現在準備中」「今後実施予定」の合計

◎：80%以上、○：50%以上、◇：30%以上、△：10%以上、×：10%未満
(●：75%以上、80%未満)

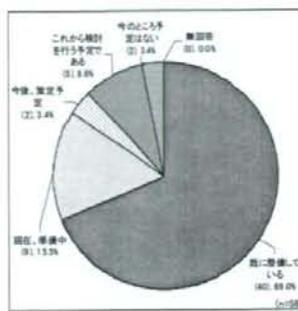
医療安全管理体制の整備	一般	歯科	助産
1) 無床診療所等における安全管理体制の整備			
① 安全管理指針の策定	◎	◎	◎
② 安全管理委員会の設置	○	○	○
③ 院内報告制度の整備と実施	◎	◎	○
④ 医療安全管理者の配置	◎	◎	◎
⑤ 緊急情報収集の手段と整備	◎	○	○
2) 職員への医療安全研修の実施			
① 医療安全に関する職員研修の実施	◎	○	○
② 院外の医療安全研修への職員の参加	◎	○	○
3) 医療事故予防対策の実施と事故発生時の対応			
① インシデント・アクシデント報告事例の分析	◎	○	◇
② 医療安全トレーニングの実施	○	○	○
③ 事故予防のための具体的な対策の実施	◎	○	○
④ インシデント・アクシデント報告事例を全職員に通知	◎	◎	◎
⑤ 院内対策改善方策の実施	◎	○	○
⑥ 事故発生とその対策についての情報公開	○	◇	◇
4) 医療安全推進のための地域連携			
① 自施設の医療安全管理の現状に関する情報公開	○	○	△
② 地域の医療機関との連携	○	○	◎
③ 医療安全研修における地域の医療機関との連携	○	○	●
④ 地域の保健所との協力体制の整備	◇	◇	○
⑤ 地域の医療安全支援センターとの連携	△	△	◇
⑥ 地域の関連団体との協力体制の整備	○	○	◎
⑦ 地域住民の声を反映するための情報収集	○	◇	○
5) その他			
① 職員への ACLS(ICLS)受講の実施	○	◇	△
② AED の設置	○	◇	×
③ ICD の取得	×	△	×
6) 医療安全管理体制整備に関する課題	○	●	○

アンケートに回答した一般診療所・歯科診療所・助産所の割合

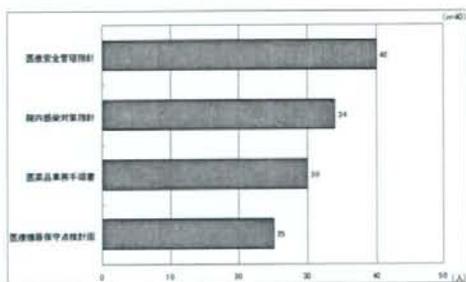


1

問1-1) 安全管理指針の策定

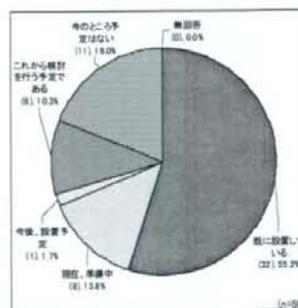


2

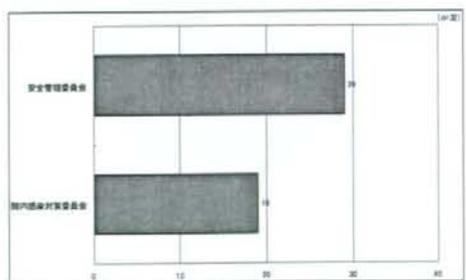
問1-1)で「既に設置している」と答えた場合、
設置しているものはどれですか？（複数回答）

3

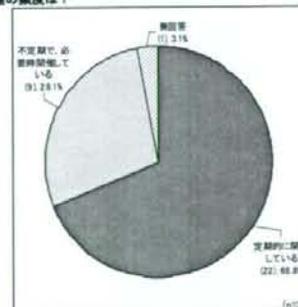
問1-2) 安全管理委員会の設置



4

問1-2)で「既に設置している」と答えた場合、
設置しているのはどれですか？（複数回答）

5

問1-2)で「既に設置している」と答えた場合、
委員会開催の頻度は？

6